

メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第65号 〔2014年7、8月合併号〕

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第65号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へJAMの最新の活動をほぼ毎月中～下旬ごろ会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしく願いいたします。

<目次>

メソトマンスリー

国内から

編集後記

次号の予定



メソトマンスリー



【メソト＝田畑 彩生】

日本政府支援の新メータオ・クリニック建設地を訪 問して

様々な国からの支援が入るメータオ・クリニックの新病棟建設。建設が始まり早くも1年近くが経ちます。2013年9月からは日本政府の支援による院内感染部門を含む病棟の建設が開始され、患者さま含め入院病棟への人々の移動は2015年1月以降の予定となっています。スタッフも新しい病棟の建設完了が待遠しく、胸躍らせて待っています。

先日、在タイ日本大使館、草の根支援事業担当の皆様が、第3期の視察でメータオ・クリニック新病棟建設地を訪れました。新しいクリニックの敷地を見学後に現在のメータオ・クリニックの施設を見学頂き、現施設の限界と新しい病棟での院内感染対策、病棟環境改善の可能性と必要性にご理解を頂きました。病棟の建設が終了しても、院内の施設の充実には支援が必要である旨お伝えしています。また、メソトと日本との経済的つながりや経済特別区、2015年以降のASEANの流れ、ミャンマーからの移民へのタイ国内での医療や保健に関する現状を説明し、国境への継続的な支援の必要性を訴えました。



【産科・小児科病棟と建設が開始された内科病棟の様子】



【産科新入院病棟内の様子】





【大使館の人々と日本政府支援の建物前で記念撮影】

国内から

【東京＝田中】

いつも当会にご理解とご支援をしていただき、本当にありがとうございます。

さて、皆様は、どのようなきっかけで「メータオ・クリニック」のこと、「メータオ・クリニック支援の会」のことを知っていただいたのでしょうか。あらゆる同様の国際支援の団体がある中で、あえて当会を選んでくださったきっかけをぜひお聞きしてみたいです。

当会は、タイ・ミャンマー国境にある難民診療所「メータオ・クリニック」を支援する日本の窓口として活動しています。メータオ・クリニックに特化して支援する日本の団体は当会しかありません。ですので時々、日本のテレビや雑誌、新聞などでクリニックのことを取り上げていただく機会がありますが、当会スタッフが対応しています。

現在も多くのミャンマー人がタイ・ミャンマー国境で暮らしています。彼らの中には、ミャンマーでもタイでも最低限の保健医療を受けられない人々が多くいます。

メータオ・クリニックでは設立時よりずっと診察代を患者さんから受け取らずに各国からの寄付やボランティアの医療スタッフにより運営してきました。

また、診療だけでなく、近隣の移民学校にビタミンA・駆虫剤投与、眼科検診、健康教育の実施、寄宿寮への食糧も提供しています。

しかし、ビルマから移民してくる人は増える一方なので、クリニックを求める患者の数も学校に通う子供も寄宿舎に住む子供も増え続けており、ますます財政難に陥っています。

日本では、体調を崩したり、けがをした時には、病院を受診することは当たり前のように思われています。でも、日本で受けられて当然だと思っていた医療は、メータオ・クリニックでは受けられないのが当たり前ということも少なくありません。日本だと病院に行けば助かって当たり前疾患が現地では命取りになることがあります。歴代の当会現地スタッフたちにとって悩んだり、もどかしくつらい気持ちになることのひとつです。



具体的に、現地でかかる費用を日本円に換算してみると
学校で勉強するこどもの給食1食分は、だいたい60円です。
初診の診察にかかる経費は、一人当たりだいたい100円です。
3,000円あれば、眼科の患者さんに必要なメガネができます。
地雷によって足を失った患者さんのための義足1足は9000円くらいかかります。
9,000円あれば、学校にガーゼ、消毒薬、体温計等が入った救急箱を設置することができます。

メータオ・クリニック支援の会は、会員の皆様と一緒に活動していきたいと考えています。
皆様からいただいた支援金は、クリニックを受診する移民・難民の方々が、安心して治療を受けられるために使わせていただいています。当会から現地に派遣している日本人スタッフも医療職としてボランティアで従事しています。

賛助会員の皆様を対象とし、毎年夏休みごろに現地へのスタディツアーを行っています。
今年も8月上旬に開催予定です。

毎年10月に東京・日比谷公園で開催しているグローバルフェスタに出展しており、そこでは夏のスタディツアー時に現地で仕入れてきた小物や衣類などの物品販売をしています。その店番のボランティアも毎年募集しています。1時間からでかまいません。ぜひご都合がつかましたら、今年もぜひ賛助会員の皆様にも、お手伝いをお願いできれば幸いです。

ほかにも、ご友人や身近な人にブログやフェイスブックなどでメータオ・クリニックのサイトを紹介していただいたり、様々な形で支援の輪を広げてくださっています。

皆様も、自分にできる一步を探してみませんか？

小さな会ですが、私たちの活動を応援して下さる皆様の温かいお心に恥じぬよう、メータオ・クリニック支援の会は、ミャンマー難民が安心して健やかに暮らせる日が訪れるまで、命を守る医療を、健康を守る保健を彼らに寄り添いながら継続していきます。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

編集後記

今年も日比谷公園で開催されるグローバルフェスタ（入場無料）に出展予定です。

今年は、10月4、5日の土日に開催されます。今年は、「国際協力60周年」ということで例年以上に賑やかなお祭りになりそうです。毎年、有名人が来ます。

例年、会員の皆様にもご協力をいただいておりますが、今年も、ぜひブースで通りがかるお客さんの呼び込みやチラシ配り、物品販売のお手伝いをお願いできればうれしいです。「現地のこと、聞かれても答えられないから困っちゃう・・・」「フェスタには行くだらうけど、ほかの団体のブースも見たいから、ずっと手伝うっていうのはちょっとなあ」という方も大歓迎です。

詳しくは、次号（9月中～下旬）の会報でお知らせしますので、どうぞご検討ください。

次号の予定

今号は7月＋8月合併号とさせていただきましたので次号は、9月中～下旬ごろ配信の予定です。

ホームページは、随時更新していきますのでぜひ、お時間があるときにご覧ください。



